

## 桜沢・スッカン沢山山行報告

【山行日】2017年 2月 16(木) 快晴  
【集 合】 栃木市運動公園P AM 7:30  
【費 用】 マイカー1台 : 2,800円  
【メンバー】 CL:鈴木、 大西、 津佐  
【コースタイム】 栃木市運動公園P7:30＝  
山の駅「たかはら」P9:00/9:15～雷霆の滝  
9:55/10:05～咆哮霹靂の滝 10:20～スッカン橋  
10:45～雄飛の滝 11:10/11:35～雷霆の滝  
12:10/12:20～山の駅「たかはら」13:15/13:30  
＝道の駅「やいた」14:00/14:20＝栃木市運動  
公園P15:00



ネットでスッカン沢の状況を見たら、ツララが落ち始めて賞味期限が迫っていると書いてあった。



今週の木曜日は天気が良さそうなので計画し、山行案内を皆さんに送った。皆さんになじみが無い場所で、平日山行もあって3名での山行となった。今回の山行報告をHPに載せて皆さんにPRし、来年はもっと早い時期に月例山行で計画したいと思った。東北道の矢板 IC で降り、途中の道の駅「やいた」に寄りトイレを済ませる。

県道30号線を進み、泉の信号を左折し県道56号線を八方ヶ原へ向かう。山道に入っても雪は無く順調に走り、山の駅「たかはら」の駐車場に

着く。山の駅「たかはら」は、冬季は金・土・日の3日間しか営業して無くて、駐車場は1台しか車が止まっていない。トイレも鍵が掛かっていて使用できなかった。準備をしてストレッチを行い、東屋にある登山届ボックスに山行計画書を入れて出発する。

しっかりしたトレースが付いていて、緩やかに桜沢に向かって下って行く。

傾斜が緩やかでアイゼン無しで下って行くが、所々急斜面を下るので慎重に進む。

途中、桜沢を渡ると沢沿いに左岸を下るようになり、出発してから40分で最初の滝「雷霆の滝」に着いた。先行した3人組が写真を撮っていたが、我々が休憩している間に出発して行った。我々も記念写真を撮り、ここからアイゼンを付け「咆哮霹靂の滝」へ向かった。ここから少し下ると吊り橋を渡り、雄飛の滝への分岐を左に分け直進し、沢に向かって降りながら右に回り込むと「咆哮霹靂の滝」



に着く。滝全体が凍っていて、白い氷の壁がドーンとあるだけで感動は得られない。滝の前で記念



写真を撮ると、3人組がビデオを撮っていて文句を言われた。「こんなところでビデオを撮る方が非常識だよな」と思いながら早々に引き上げる。来た道を雄飛の滝分岐まで戻り、右に雄飛の滝方面へ進む。ここからが雄飛の滝線で、スツカン沢沿いに遊歩道が整備されているが、分岐に「立ち入り禁止」の札が掛けられていた。脇から入るトレースがしっかり付いているので、自己責任で雄飛の滝へ向かって進む。沢に向かって急斜面を下ると、木の階

段が整備されているが、途中落石で橋が壊れている。この場所が危険なので、通行禁止となったよ

うだ。ところがここからがスツカン沢の核心部で、左側の崖に出来たツララはまさに氷の芸術で素晴らしい。ガラスのシャンデリアを幾重にも積み重ねたようなツララ群は見事としか言いようがない。氷の芸術を楽しみながらスツカン橋を渡り、登りかえした先が「雄飛の滝」で、こちらもツララの芸術が目を楽しませてくれる。少し先の展望台まで行くと、「雄飛の滝」の全貌が見渡せる。展望台から雄飛の滝入口まで戻り、陽が当たる暖かい場所でランチタイム。お湯を沸かし、各自持参したカップ麺を食べ体が温まる。食後リンゴを食べ、お茶を飲んだら下山する。



下山は来た道に戻るが、往路は下りで楽だったが復路は登りになるので結構きつい。雷霆の滝で休憩し、ここからはアイゼンを外して登って行く。1時間ほど登り返すと山の駅「たかはら」へ着いた。帰りも道の駅「やいた」へ寄りお土産をゲットし、予定より少し早く帰着出来た。

